

「小遣帳」 Ver.10 ご利用上の注意

2002 年 6 月 15 日

池田 蛇足

dasoku@s6.xrea.com

【1：導入】

ファイル「Kozukai.prc」が実行ファイルです。PalmOS 搭載 PDA に、HotSync で転送してお使いください。Windows 環境であれば、ファイルをダブルクリックすれば転送用フォルダにコピーされ、次回の HotSync で送られるはずですが、このソフトが扱うデータベース(ファイル)は、PalmOS 搭載 PDA の内部で生成します。

実行ファイル「Kozukai.prc」は、NSBasic のランタイムを含めてコンパイルしてあります。もし、あなたの PalmOS 搭載 PDA に、すでに NSBasic のランタイムがインストールされている場合は、軽量版の「Kozukai_l.prc」を導入してください。また、他に NSBasic でコンパイルされたソフトを導入する予定がある場合は、Nsbasic のランタイムを別途入手して、その上で軽量版を導入してください。

NSBasic のランタイムは、以下のサイトからダウンロードできます。

<http://www.nsbasic.com/palm/support/downloads.html>

【2：動作環境】

バージョン 3.5 以上の PalmOS が正常に

動作する PDA でお使いになることを推奨します。一部機能が正常にお使いいただけない可能性はありますが、おそらく PalmOS バージョン 3 でも動作します。モノクロデバイスでの動作を前提に設計されていますが、カラーデバイスでもお使いいただけます。ただし、ハイレゾ表示には対応しておりません。

なお、当方の開発環境は、Windows 2000Pro で動作する「NSBasic 2.1.1d」、動作確認環境はハンドスプリング社の Visor Edge およびその ROM イメージを吸い出して動作させている Palm OS Emulator 3.5 です。

【3：著作権、免責】

このソフトは無償でお使いいただけます(フリーソフト)。ただし、これは著作権を放棄することを意味するものではありません。また、このソフトをお使いになったことで利用者がいかなる不利益を受けようとも責任を負いかねます。

【4：ご利用方法】

「小遣帳」は、その名の通り、いわゆる「お小遣帳」の機能を、PalmOS 搭載 PDA に持たせるためのソフトです。標準搭載ソフト「支払メモ」では実現できないいくつかの機能を実装しています。

このソフトで基本となるのは、財布の中にある現金の多寡です。小遣帳といいながら、預金額の管理、クレジットカードの支払管理機能などは搭載していません。あくまでも、財布の中の現金が、何に、いくら使われたかを記録し、分析するソフトです。要するに、財布のキャッシュフローを分析するソフトとお考え下さい。

それでは、具体的な使用法について説明します。

4 - 1：財布の棚卸

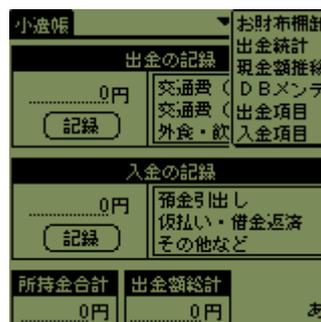
さっそく、ソフトを起動してみましょう。起動画面は、以下のようなものです。



ここで財布への入出金を記録します。しかし、まず最初に、財布の“棚卸”を実行しましょう。

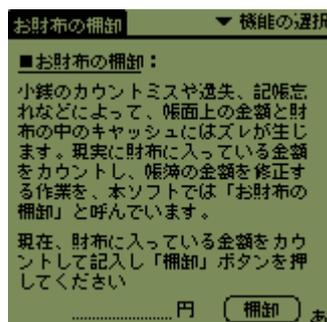
どれだけ精緻に帳簿をつけても、人間のやることなのでミスが発生します。そこで、帳簿上の数字と、実際にあるモノ（在庫）の数を照らし合わせ、帳簿を修正・更新する作業が必要になります。これが「棚卸」です。本ソフトでは、財布の中の現金を在庫に見立て、その内容を検分・カウントする作業を「財布の棚卸」と呼んでいます。

まず、自分の財布を開き、その中の金額を数えてみましょう。数え終わったら、その金額を本ソフトに登録します。メイン画面（起動画面）の右上にあるプルダウンメニューから「財布の棚卸」をタップしてください。



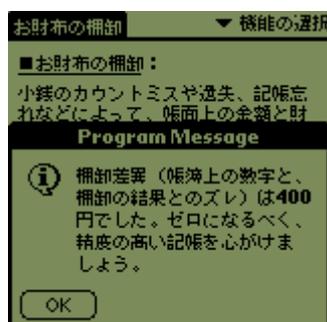
なお、本ソフトは、メイン画面を含む7画面（お財布棚卸、出金統計、現金額推移、DBメンテ、出金項目、入金項目）によって構成されています。すべての画面へ、右上のメニューからジャンプできます。

さっそく、メニューから「お財布棚卸」を選択してジャンプしてみてください。



ここの入力エリアに、数えた金額を入力し、「棚卸」ボタンを押してください。これで、ソフトに、あなたの持っている現金が記録されます。

この棚卸という作業は、初回起動時だけでなく、なるべくこまめに実行されることをお勧めします。繰り返しになりますが、どれだけ精緻に記録しても、いずれ財布の中身と帳簿がずれてくるからです。



上図は、帳簿上の金額と、棚卸の結果との間に 400 円のズレ（棚卸差異）があった

ことを示しています。棚卸差異は小さければ小さいほど優秀です。

4 - 2 : 入出金の記録

それでは、いよいよ入出金をどう記録するかを説明します。もう一度、メイン画面をご覧ください。



メイン画面は、大きく4つのブロックに分かれています。「出金の記録」「入金の記録」「所持金合計」「出金額総計」の4つです。

記録のために使うのは、上の2つのエリアです。財布から現金が出た場合は「出金の記録」エリアを使います。その摘要を右ブロック(プルダウンメニュー)から選び、金額を記入して「記録」ボタンを押します。なお、この摘要の項目名(交通費、買い物、飲食...など)はカスタマイズできます(4 - 5)。

あらかじめ設定された項目(摘要)から選ぶだけなので、簡単な操作で出金情報を記録するのが特徴です。PalmOS 搭載 PDA の弱点の一つに、日本語の文字入力機能が挙げられることが多いようですが、本

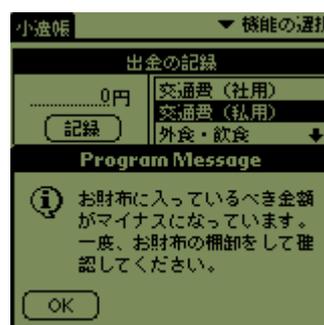
ソフトを使って記録すれば、面倒な日本語入力は最初の一回設定する時だけで、あとはスタイラスによる選択と、数字の入力だけで操作できます。

入金も、出金と同様です。摘要を右ブロック（プルダウンメニュー）から選び、金額を記入して「記録」ボタンを押してください。入金項目もカスタマイズできます。

このように、財布からの出金、財布への入金を記録していくと、下部エリアの「所持金合計」「出金額総計」の金額が刻々と変わります。

「所持金合計」は、財布に入っているべき金額です。この金額と、現実に財布に入っている金額は、理論上、一致します。棚卸の結果、財布に入っている金額がソフトに登録され、そこから出金されると差し引かれ、入金すると足されているからです。もちろん現実の金額とずれてしまうことはあるはずですが、それは「棚卸」で修正します（4 - 1）。

棚卸をしないまま、無造作に記録していると、現実にはありえないことですが、所持金合計がマイナスになってしまうこともありえます。本ソフトは、所持金合計がマイナスになった時点で、以下のようにユーザーに警告します。



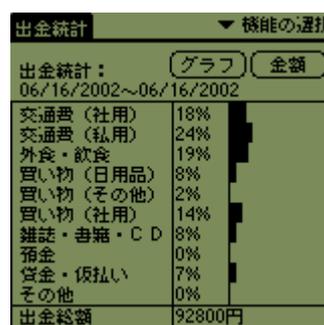
このような事態に陥らぬよう、精緻な記帳とこまめな棚卸を実行してください。

もう一つ、メイン画面に表示されている金額があります。この「出金額総計」は、出金した金額の累計です。ユーザーによってクリアされない限り、累計を計算しつづけます。

今度は、この出金額について、もう少し細かく見ていきましょう。

4 - 3 : 項目別出金統計

メイン画面の右上メニューから「出金統計」を選んでください。次のような画面が表示されます。一見してお分かりいただけるとはと思いますが、各項目の出金状況が、棒グラフで表示されています。



それぞれの棒は、全出金額に占める、その項目の出金額の割合です。

例えば、食料品や飲食代に関する項目があれば、それらの割合を全て足したものが、あなたのエンゲル係数になります。

割合だけでなく、金額もご覧いただけます。右上の「金額」ボタンをタップしてください。

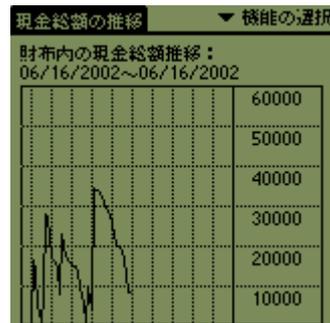


項目	金額
交通費 (社用)	16300円
交通費 (私用)	22600円
外食・飲食	17400円
買い物 (日用品)	7000円
買い物 (その他)	2090円
買い物 (社用)	13310円
雑誌・書籍・CD	7500円
預金	0円
貸金・仮払い	6600円
その他	0円
出金総額	92800円

このように、各出金項目の出金額と総計が一覧できます。どんな出費が家計を苦しめているのか、なぜ財布の中の現金がいつの間にか減っているのか、一体に何に使っているのか、一目瞭然になります。

4 - 4 : 所持金額の推移

出金額とは別に、気になるのが、財布の中のキャッシュがどう推移しているのかという点です。メイン画面の右上メニューから「現金額推移」メニューを選んでください。



過去 100 件の入出金、棚卸時点での現金額の推移です。上限は 6 万円になっていますが、これは、作者がそれ以上の現金をまず持ち歩かないからです。

なお、注意すべき点は、時系列で区分されているわけではないという点です。あくまでも入金、出金、棚卸の時点での現金額ですので、入出金が頻繁であれば、グラフ全体が 3 日分のデータになることもあってしょうし、逆に入出金が少なければ、1 か月以上のデータになるかもしれません。

4 - 5 : 摘要のカスタマイズ

出金・入金ともに、摘要をカスタマイズできます。もちろん初期設定のままお使いいただいても構いませんが、ご自分の実情に合った摘要(項目名)に変更されると、より実用的に本ソフトをお使いいただけます。なお、初期設定は以下の通りです。

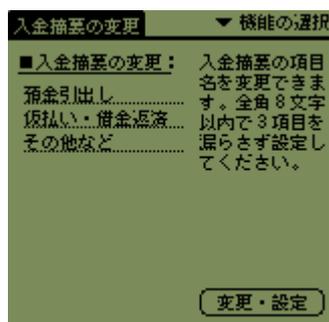
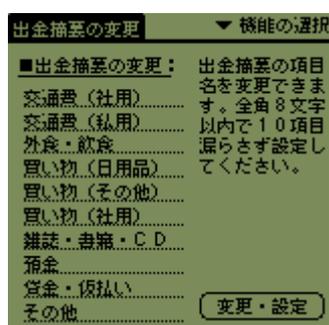
- < 出金摘要 >
- 交通費 (社用)
- 交通費 (私用)
- 外食・飲食
- 買い物 (日用品)

買い物（その他）
買い物（社用）
雑誌・書籍・CD
預金
貸金、仮払い
その他

<入金摘要>

預金引出し
仮払い・借金返済
その他

これらの項目をカスタマイズするには、メイン画面右上のメニューから「出金項目」「入金項目」のメニューをタップして、各設定画面にジャンプします。

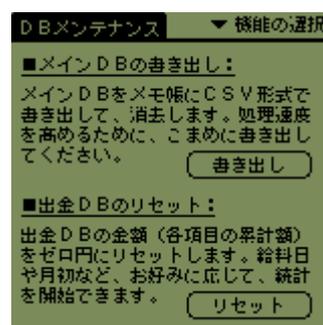


項目名は最長で全角8文字（半角16文字）まで文字を使えます。出金項目は10項目、入金項目は3項目まで設定できます。

なお、各項目は、ソフト内部では順番で管理されています。項目名を変えても、累計の集計は継続します。例えば、一番上の項目「交通費（社用）」を「お菓子代」に変えた場合、「交通費（社用）」として集計されていき金額は、「お菓子代」に継承されてしまいます。このようなことでは、正しい集計が出ません。そこで、データベースをリセットする作業が必要になります。

4 - 6 : 出金 DB のリセット

メイン画面の右上メニューから「DB メンテ」を選んでください。

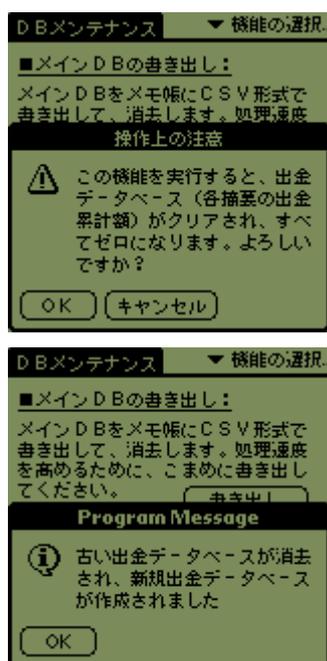


本ソフトは、大きく分けて2つのデータベース（記憶領域）を持っています。これら2つは独立しているため、それぞれを消去したり、更新したりできます。

まずは下段の「出金データベース（出金DB）」ですが、このデータベースは、各出金項目の累計を記憶するためのものです。レコードは1行だけなので、消去しなくても PalmOS 搭載 PDA の記憶領域を圧迫することはありません。しかし、出金項目（摘要）を変更した場合、各項目の累計金額を

リセットしなくては、正しく集計されません。また、月ごとなど、期間を区切って集計したいというニーズもあるはずです。

この機能を使えば、簡単に、出金 DB の内容をクリアできます。操作は、「リセット」ボタンを押すだけです。



これで、各出金項目の累計額が 0 円にリセットされました。

4 - 7 : メイン DB の書き出し

次いで、もう 1 つのデータベース「メインデータベース」のメンテナンス機能について説明します。

メインデータベースは、財布の棚卸、出金、入金が記録される、本ソフトにとって

最も基本的なデータベースです。プラス金額、マイナス金額、所持現金額、記録された日付と時刻が記録されます。

履歴として再覧できるように、入出金や棚卸のたびにデータを書き足していく仕組みになっています。つまり、入出金や棚卸を記録した数だけ行数のあるデータベースです。長期にわたって記録を続けると、蓄積されるデータは膨大なものとなり、PalmOS 搭載 PDA の記憶領域を圧迫する可能性もあります。また、過大なデータを扱うことになるため、本ソフトの動作が遅くなる恐れもあります。

したがって、メインデータベースの内容を消去する機能が必要になります。しかし、せっかく履歴として残しているデータなので、ただ消去するだけでは惜しいと思われるユーザーも少なくないはずです。そこで、本ソフトでは、メインデータベースの内容を、カンマ区切りテキスト (CSV 形式) にして PalmOS に標準搭載されているソフト「メモ帳」に書き出す機能を搭載しました。

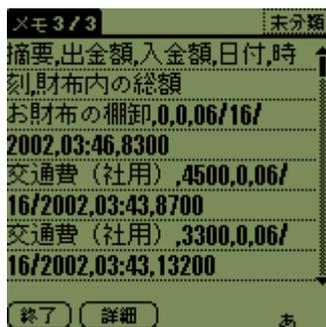
操作は、出金データベースの場合と同じです。ユーザーは「書き出す」ボタンを押すだけで、データを書き出せます。





なお、この操作には、データ数によっては数秒の時間を要する場合があります。

書き出されたデータを確認してみましょう。「メモ帳」を開けば、データを見ることができます。



このような形でメモ帳に書き出されたデータは、HotSyncによって、PalmDesk topに転送されます。これをパソコンでコピーに、テキストエディタなどに貼り付け、拡張子「csv」とつけて保存すればCSVファイルができます。エクセルなどの表計算ソフトで管理できるので便利です。

ただし、注意が必要です。PalmOSの「メモ帳」は4キロバイトまでのデータしか扱えないという制限があります。これを超えてしまった場合、データの書き出しはできなくなります(次回以降のバージョンアッ

プで、分割して書き込む機能を搭載する予定です)。ころあいを見計らって、定期的に書き出すようにしてください。

【5：最後に...】

自分のために作ったソフトですが、世の中の誰かが、本ソフトを必要としていれば幸いです。ご要望やご意見などは、電子メールでください。

最新版は以下URLのサイト「鉾雀記」で配布します。コラムやドキュメントなど、頻繁に更新しているので、ぜひ遊びに来てください。

<http://dasoku.s6.xrea.com/>